

国土交通政策研究所報「PRI Review」第 62 号の発行

～所有者不明の土地問題、訪日外国人旅行者の国内訪問地域分布予測などを掲載～

国土交通政策研究所は、国土交通分野で行った調査研究を紹介する所報「PRI Review」第 62 号（2016 年秋季）を発行しました。

本号では、所有者不明の土地の有効活用対策の方向性を提案した「所有者不明の土地の増加は国土保全のナショナルミニマムを毀損する？」、訪日外国人旅行者の国内訪問地域分布を予測した「訪日外国人旅行者の国内訪問地域分布予測手法に関する調査研究」などを掲載しています。

本文はこちらから→<http://www.mlit.go.jp/pri/kikanshi/prireview2016.html>

掲載されている調査研究の概要は以下の通りです。

調査研究のタイトル	概要
所有者不明の土地の増加は国土保全のナショナルミニマムを毀損する？	不明土地の問題が国策上、国土保全のナショナルミニマムを毀損するという主張を提案し、さらに、不明土地の問題について、その用途によって対策の方向性を区別すること、さらに、対策においても、都市施設という公法的な手法を新たに検討すべきことを提案する。
訪日外国人旅行者の国内訪問地域分布予測手法に関する調査研究	訪日外国人旅行者の国内の旅行実態を明らかにするとともに、訪日外国人旅行者の国内訪問地域分布を予測する手法を検討し、訪日外国人旅行者が 3000 万人に達する時代における国内訪問地域分布の予測結果を示す。
日本インフラ産業の海外進出に係る基礎的情報に関する調査 (Kick-off)	今後のインフラ需要が見込まれる国について、進出の判断に関わる基礎的情報の収集・整理・比較分析を行う。本稿では背景、目的、調査研究の概要を紹介する。
広域災害発生時におけるモード横断的な貨物輸送に関する調査研究 (最終報告・その 2)	南海トラフ巨大地震による物流ネットワーク・拠点の被災評価を行い、道路・鉄道・航路の 3 モードを考慮した貨物流動量シミュレーションとケーススタディを実施した。本稿ではその結果を報告する。
社会構造環境の変化に伴う今後の地域における行政政策の在り方について (概観) ②	地方自治体の危機管理体制の在り方について考察し、自治体連携、地区防災計画、防災ボランティア及び防災教育の各観点からの調査・研究結果を紹介する。

※PRI Review について

当研究所では、調査研究における検討内容や進捗状況について、関係者に幅広く周知することを目的として、「国土交通政策研究所報」を年に 4 回発行し、当研究所のホームページに掲載しています。

PRI は、国土交通政策研究所の英語名 (Policy Research Institute for Land, Infrastructure, Transport and Tourism) から取っています。

お問い合わせ先

国土交通省 国土交通政策研究所
(中央合同庁舎 2 号館 15 階)

研究調整官 山田 (内線 53803)
研究調整官 廣松 (内線 53835)
総務課総務係長 泉 (内線 53813)

電話 : 03-5253-8816 (直通) / FAX : 03-5253-1678

Mail : pri@mlit.go.jp URL : <http://www.mlit.go.jp/pri/>